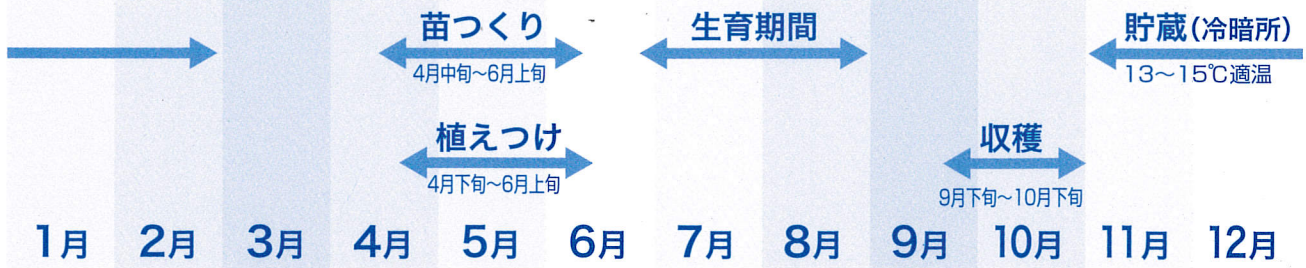


サツマイモの栽培ごよみ

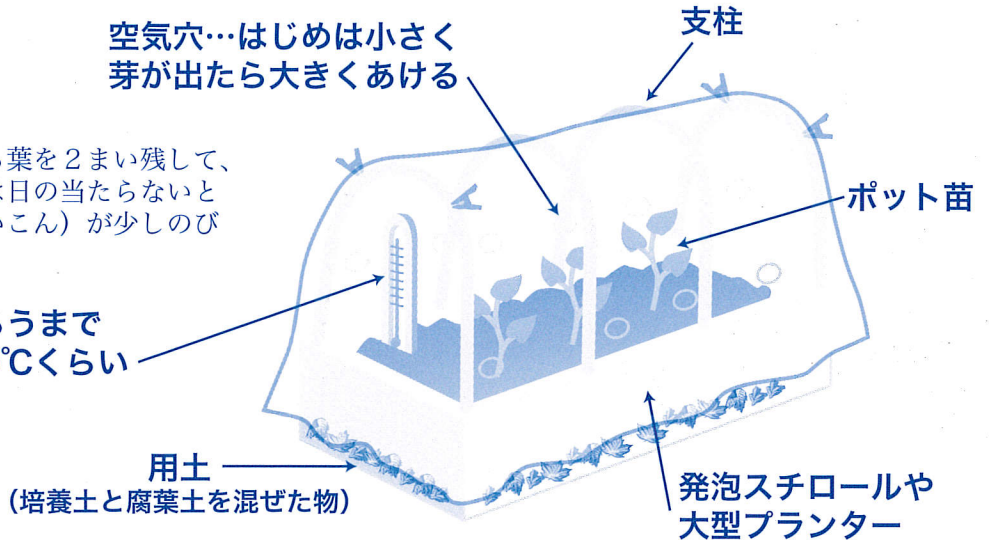


1. 苗(なえ)の準備

葉が7~8まいになったら、地面から葉を2まい残して、ナイフで切り取ります。切り取った苗は日の当たらないところに3~4日おいて、不定根(ふていこん)が少しのびかけたものを植えます。

葉がそろうまで
25~30°Cくらい

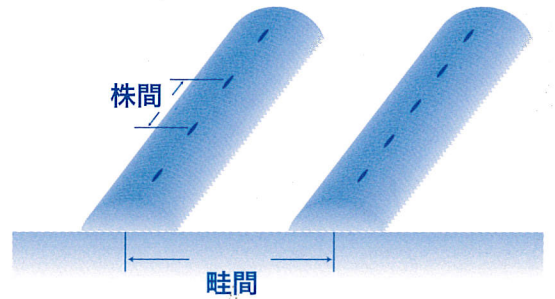
空気穴...はじめは小さく
芽が出たら大きくあける



2. 植えつけ

地面の温度が18°C以上になったら、早めに植えましょう。九州など西日本では4月終わりごろから、関東など東日本では5月始めごろからが目安です。

1. 日当たりと水はけがよく、土はやせぎみのところを選びます。
2. 植える前に、スコップやくわでほりおこし、よくかきまぜてから土壌改良剤や肥料を施し、うね(植える列)をつくります。うねのはばは40cmくらい、鉢(はち)やプランターでも楽しめます。家庭菜園では株間25~35cm、畦間90~100cm、ツルは3節程が土中になるように植えて下さい。



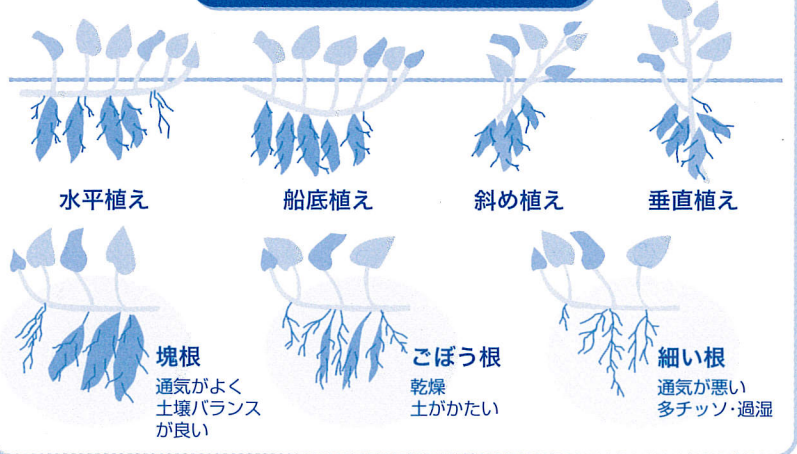
3. 施肥(せひ)の注意

肥料(ひりょう)はチッソが多いと「つるぼけ」といって、葉やつるだけがよく育って、いもが大きくなりません。カリ成分の多い肥料をつかいます。

4. 病気(びょうき)・害虫(がいちゅう)

虫などはこまめに取って下さい。(できるだけ無農薬で)

植えつけはいろいろ



5. 収穫(しゅうかく)・貯蔵(ちょそう)

植えつけてから120日くらいで収穫できます。関東では10月始めから11月の始めごろ、九州では9月終わりごろから11月終わりごろが目安です。一度試しにほってみて、大きさを確かめておくのもよいでしょう。皮はやわらかくて傷(きず)つきやすいのでいねいにほり上げます。カマでつるを付け根から切って、軍手を使って手でほります。3本刃(ば)のついたくわを使うと、らくにほることができます。土を落とさず、そのまま13~15°Cの温度で貯蔵します。